



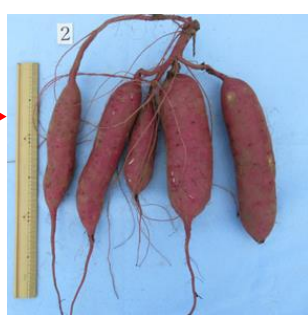
形の良いサツマイモは良い苗からできる

高品質なサツマイモはおいしいことはもちろん、形と色が良いことが求められます。また、1本あたり重量が200～500g (M～L) クラスの単価が高いといわれます。形が良く、適度な大きさの「いも」生産の基本は、活着が良く1株あたりに「いも」が適度に着生することが大事です。そのためには良い苗を植えることが基本となります。

1. 活着の良否と「いも」の形



すみやかに
活着した株



すみやかに活着した株は「いも数」が多くなる。
肥大しすぎず、長すぎず、形の良い「いも」になりやすい。



なんとか
活着した株

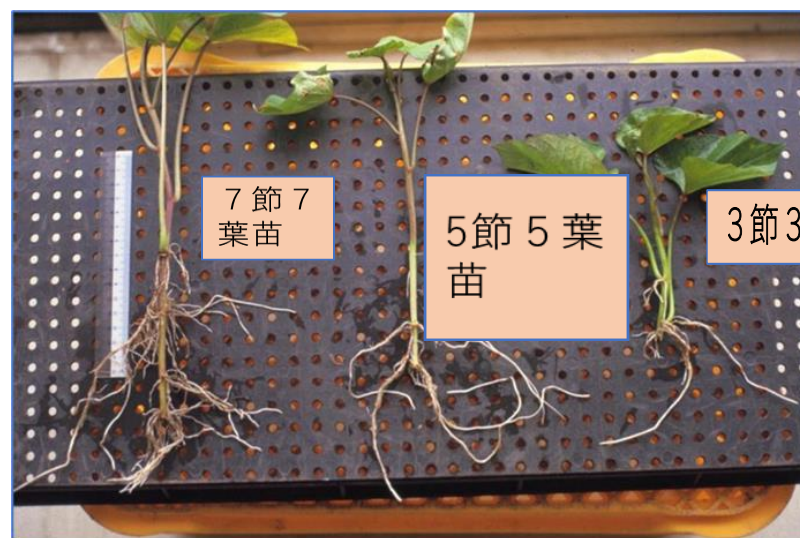


なんとか活着した株は、「いも数」が少なく、大きな「いも」や長すぎる「いも」になりやすい。

形の良い「いも」生産には
活着が良いことが大事！

2. 苗の葉数と発根

～移植 1 週間後の根の出かた



7 節 7 葉苗

5 節 5 葉苗

3 節 3 葉苗

苗の葉の数が多いほど、移植後の発根数と発根量が多くなり、活着しやすくなる。
早く出た太い根は「いも」になりやすいので、葉の数が多い苗ほど、「いも数」が多くなり、形の良い「いも」になりやすい。

活着を良くし、「いも数」を多くするためには、**葉の多い苗 (7 節 7 葉苗)** が良い！

◎まとめ

7 節 7 葉苗は、5 節 5 葉苗などと比べて移植後に根が多く出ます。根が出るための養分は葉の中にあるので、葉の数が多い苗は発根数と発根量が多く、活着しやすくなります。早くでた太い根は、「いも」になりやすいので、太い根が多い 7 節 7 葉苗は「いも数」が多くなります。「いも数」が多いと、1 本あたりの大きさ (重さ) や長さは大きくなりすぎず、M～L クラスの割合が高くなります。特にベニアズマは、株あたりの「いも数」が少なく、大いもになりやすいので、苗質 (葉の数) には十分注意します。